

## 第2回「令和6年度 持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業」に係る大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

### 1. 日時及び場所

日時：令和6年3月26日（火曜日）10時00分から12時10分

場所：エル・おおさか本館11階 セミナールーム

### 2. 審査方法

審査基準（企画提案公募要領に記載）に基づき、大阪府にて企画提案公募参加資格の確認を行った。選定委員会では、資格適合者について書類審査及びプレゼンテーション審査を実施し、3名の選定委員が提案内容について採点した。各委員の採点結果に基づき選定委員が合議を行い、最終評価点を決定し、最終評価点が採択の基準となる60点を上回る提案者のうち、最高得点を獲得した者を最優秀提案者として選定した。

### 3. 議事概要

#### ①審査方法等の確認

＜提案状況＞

○提案事業者：2事業者 【採択予定者数：1者】※受付順

株式会社パソナ パソナ・淀屋橋

ダイバーシティ推進事業運営共同企業体（代表構成員：一般財団法人大阪労働協会）

＜審査方法の確認＞

○書類審査

- ・企画提案内容についての書類審査

○プレゼンテーション審査

- ・提案内容について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施。
- ・その後、選定委員による質疑を実施。

＜採択基準の確認＞

- ・総合評価点が100点満点のうち60点に満たない場合は採択しない旨を確認。
- ・提案内容が、業務目標を下回っていない旨を確認。

※業務目標：①ダイバーシティ経営に取り組む（取り組む予定）の企業数 270社  
②府内企業に安定就職した学生の数 330人

#### ②審査及び質疑応答

書類審査（5分）、プレゼンテーション審査（15分）、質疑応答（15分）を実施

【主な質問内容】

- ・多様な学生の特性に対する理解促進について、具体的にどのようにして府内中小企業に啓発しているか。
- ・就職困難な学生の中でもコミュニケーション能力には濃淡があると思うが、それぞれの学生に応じてどのような支援を実施しようと考えているか。
- ・就活における学生の不安を解消するための方策として、具体的にどのような支援を実施しようと考えているか。
- ・合同企業説明会等のマッチングイベントにおいて、企業と学生とのミスマッチを防ぐために具体

的にどのような工夫を考えているか。

- 受託事業者となった場合に、本事業における各支援項目での得意、不得意分野はあるか。また、不得意分野についてはどのような工夫により改善を図ろうと考えているか。
- 本事業は単なる企業と学生のマッチングには留まらず学生の安定就職をめざすものであり、これを実現するべく他の社会的資源との連動など何か検討していることはあるか。

### ③採点及び最優秀提案者の選定

書類審査及びプレゼンテーション審査を踏まえ、各委員が提案内容について採点を実施した。各委員の採点結果を基に、合議制により総合評価点を以下のとおり決定した。

《評価点内訳及び提案金額》

最優秀提案事業者	総合評価点 (100点満点)	評価点内訳		提案金額 (税込)
		企画提案部分 (85点満点)	価格点等 (15点満点)	
ダイバーシティ推進事業 運営共同企業体	76.7点	65.7点	11.0点	29,354,000円

### ④選定理由

書類審査及びプレゼンテーション審査の結果を踏まえて、各提案事業者の提案について選定委員が総合評価を行ったところ、2者とも基準(60点)を超える総合評価点を獲得していた。その中で、より評価点の高かったダイバーシティ推進事業運営共同企業体の提案内容は大阪府の事業趣旨をくみ取った具体性のある提案であり、十分な経験と実績を有していた。

以上のことから、ダイバーシティ推進事業運営共同企業体を最優秀提案者として決定するものである。

#### 【その他、委員の主な意見】

- 調査結果に基づいた提案内容であり、かつ企画内容も具体的であった。また、質疑応答において的を射た回答を得られたため提案に説得力があった。
- 学生向けイベント等において、イベント色を色濃く打ち出した提案内容であり、学生が魅力を感じて参加しようと思えるような良いフックになるのではないかと期待している。
- 一度就職をしても短期間で離職してしまい、その後の社会復帰が困難になる人もいるので、本事業を通じた学生と企業のマッチング支援は非常に重要と考える。今回の提案は、単なるマッチング支援には留まらず、学生の安定就職や定着支援にも繋がる内容であり、期待感を持つことができた。
- 提案内容が理想に終わらないよう、具体的な実施内容の精査は必要と考える。

#### 4. 選定委員会委員（敬称略・五十音順）

所属・職名等	氏 名	選任理由
大阪弁護士会 （松田・澤田法律事務所）	澤田 裕和	法律の専門家として、情報保護やコンプライアンス、公正性・公平性の観点を中心に審査。
一般社団法人 大阪府中小企業診断協会 理事	中井 勝博	中小企業の経営に精通しており、中小企業の人材確保における課題や、人材不足が経営に与える影響についても造詣が深く、企業側の視点で業務の実効性の観点を中心に審査。
京都大学 准教授	村田 淳	発達障がい傾向のある学生の就職支援について専門性を有しており、学生全般の就職活動についても知見を有することから、学生の思考等を理解し、マッチングの促進が図られる提案内容となっているか等を中心に審査。